

鹿児島工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	英語演習 I B	
科目基礎情報							
科目番号	0016		科目区分		一般 / 必修		
授業形態	演習		単位の種別と単位数		履修単位: 1		
開設学科	情報工学科		対象学年		1		
開設期	後期		週時間数		2		
教科書/教材	はちの発音 ハミング8メソッド 大庭まゆみ著 ハミングバード、First Time Abroad 初めての海外旅行 佐藤公雄著 成美堂、Listening Studio Standard いいずな書店編集部著 いいずな書店、キクタン英会話[海外旅行編] 一杉武史 アルク						
担当教員	嵯峨原 昭次						
到達目標							
1. ハミング発音step6の音の流れが発音できる。 2. ハミング発音Step7の音の変化が発音できる。 3. ハミング発音Step8の音の強弱が発音できる。 4. 英語の暗唱文を正しい英語発音で発表できる。 5. 英語で言いたいことを話すことができる。 6. 準2級リスニングレベルの問題を解くことができる。 7. 英会話表現を認知することができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	ハミング発音step6の音の流れテストで8割以上取得できる。		ハミング発音step6の音の流れテストで6割以上取得できる。		ハミング発音step6の音の流れテストで6割以上取得できない。		
評価項目2	ハミング発音Step7の音の変化テストで8割以上取得できる。		ハミング発音Step7の音の変化テストで6割以上取得できる。		ハミング発音Step7の音の変化テストで6割以上取得できない。		
評価項目3	ハミング発音Step8の音の強弱テストで8割以上取得できる。		ハミング発音Step8の音の強弱テストで6割以上取得できる。		ハミング発音Step8の音の強弱テストで6割以上取得できない。		
評価項目4	原稿を暗記して、正しい英語発音で、説得力のある英語で発表できる。		原稿を暗記して発表できる。		原稿を暗記して発表できない。		
評価項目5	英語で言いたいことを、正しい発音で、説得力のある英語で話すことができる。		英語で言いたいことを相手の理解できるレベルの発音で、話すことができる。		英語で言いたいことを話すことができない。		
評価項目6	英検準2級リスニング問題20問中16問以上正解できる。		英検準2級リスニング問題20問中12問以上正解できる。		英検準2級リスニング問題20問中12問以上正解できない。		
評価項目7	英会話表現テスト(満点25点)で20点以上取得できる。		英会話表現テスト(満点25点)で15点以上取得できる。		英会話表現テスト(満点25点)で15点以上取得できない。		
学科の到達目標項目との関係							
本科(準学士課程)の学習・教育到達目標 2-b							
教育方法等							
概要	発音、リスニング、スピーキングを基礎から演習し、その成果を英語Ⅰ、Ⅱの総合学習に活用する。						
授業の進め方・方法	授業の大半を英語で進める。 英語の発音授業は、専用DVD、鏡を利用して、担当教員が詳細に説明し、数週間後必ず発音実践試験が実施される。また、発音授業についていけない学生のために補講や個人指導がある。 リスニング・スピーキングの演習等、LL機器を利用して進める。						
注意点	防音設備の整ったLL教室で失敗を恐れずに積極的に英語をしゃべること。発音・スピーチ・リスニングの諸活動に積極的に参加すること。評価のほとんどは実践的な活動で評価するので、発表、インタビューテストなど真面目に取り組むこと。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	Pronunciation(Step6)		Step6の音の流れが発音できる。		
		2週	Pronunciation(Step7)		Pronunciation(Step7)		
		3週	Pronunciation(Step8)		Step8の音の強弱が発音できる。		
		4週	Speech③(暗唱文)		英語の暗唱文を正しい英語発音で発表できる。		
		5週	Listening③		リスニング教材を利用して準2級リスニングレベルの問題を解くことができる。		
		6週	表現③		対話(場面)表現を認知することができる。		
		7週	その他④(強弱読み、フォローイング、絵カード説明、スピーキング)		実践演習ができる。		
		8週	Pronunciation(英文)		英文を正しい発音で読むことができる。		
	4thQ	9週	Short Speech		英語で言いたいことを話すことができる。		
		10週	Listening④		リスニング教材を利用して準2級リスニングレベルの問題を解くことができる。		
		11週	表現④		対話(場面)表現を認知することができる。		
		12週	その他⑤(強弱読み、フォローイング、絵カード説明、スピーキング)		実践演習ができる。		
		13週	その他⑥(強弱読み、フォローイング、絵カード説明、スピーキング)		実践演習ができる。		
		14週	その他⑦(強弱読み、フォローイング、絵カード説明、スピーキング)		実践演習ができる。		
		15週	後期期末試験		授業項目について達成度を確認する(実践テスト、ペーパー試験)。試験において間違えた部分を自分の課題として把握する。		

		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	英語のつづりと音との関係を理解できる。	2		
				英語の標準的な発音を聴き、音を模倣しながら発声できる。	2		
				英語の発音記号を見て、発音できる。	2		
				リエゾンなど、語と語の連結による音変化を認識できる。	2		
				語・句・文における基本的な強勢を正しく理解し、音読することができる。	2		
				文における基本的なイントネーションを正しく理解し、音読することができる。	2		
				文における基本的な区切りを理解し、音読することができる。	2		
				中学で既習の1200語程度の語彙を定着させるとともに、2600語程度の語彙を新たに習得する。	2		
				自分の専門に関する基本的な語彙を習得する。	2		
				中学校で既習の文法事項や構文を定着させる。	2		
			高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文を習得する。	2			
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	2		
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	2		
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	2		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	0	30	100
基礎的能力	70	0	0	0	0	30	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0